

なぜアルゼンチンタンゴなの？

JECK理事 小泉由紀子*

それは、教わってみようかというチャンスが到来したからです。

セラピーでは80歳代90歳代も踊っていると云うわけで、友人の合気道指導者の田村晶子さんが自分の誕生日に合わせて御子息にサプライズで踊って見せたのです。リベルタンゴを一曲。アメリカからご子息夫婦がお祝いに駆けつけたのですが見事に踊り切りました。大成功です。短期間で習得して見事でした。

彼女が言うには、アルゼンチンタンゴと合気道の動きは似ていると。確かにリズムは違えけれど動きは、そのように感じます。

そこで私もやってみようかと始めました。社交ダンスを少々たしなんでいたのですがステップは踏めるのではないかと。呑み込みは悪いのですがそこは図々しく。

月2回、半年が経過しました。先生はアルゼンチン出身のDiego Malvicino。彼はプロのギタリストですがダンスに目覚めてダンサーにもなったような方です。

日本人のダンサーの奥様とはアルゼンチンで出会い結婚し、7年前に来日したそうです。子供は二人目



が生まれるところですが早く会いたいと嬉しそうに言っています。

彼のダンスは容姿端麗で見栄えが良く、その上、教え上手です。サークルのメンバーも徐々に増えていて10名弱になりつつあります。

レッスンは第一、第三月曜日と第二、第四木曜日の午後には横浜市中区のスポーツセンターで練習しています。

Tango hugというグループを前述の晶子さんが立ち上げ私はTango Barとして「Meetup」という交流サイトで月1回開催します。コンセプトは老若男女に集っていただき、見るも踊るも一杯飲みながら楽しい一時を過ごしていただくことを願っています。

ご興味は沸いてきたら是非ご参加ください。お待ち申し上げております。



*こいずみゆきこ JECK理事 専門分野:国際コーディネーション

アルゼンチンタンゴに魅せられて

JECK事務局長 大平一昭*

筆者は、1954年9月27日、高校の北海道修学旅行の最終地函館にいた。前日の台風15号の暴風と高波で、洞爺丸が沈没し、市街は騒然としていた。その時に、函館の喫茶店で偶然に聞いたアルゼンチンタンゴのエル・ウラカン(颶風)が耳に残っている。筆者は、クラシックも軽音楽も聞かぬが、アルゼンチンタンゴ(以下タンゴと省略する)に思い入れがあるのは、このような記憶が関係しているのかもしれない。

タンゴは、ブエノスアイレスのボカ地区の貧しい労働者や娼婦の間から生まれた。最初は下品な音楽とされていたが、パリで流行してアルゼンチンに逆輸入され上流社会にも受け入れられるようになった。

日本人は、タンゴ好きと言われている。バンドネオンがスタックカートでリズムを刻み、その上をバイオリンが物悲しく甘美なメロディーを奏する。これが日本人の琴線に触れるのではないかと思う。

日本では、戦前から「奥様お手をどうぞ」、「狂乱のモンテカルロ」のようなコンチネンタル・タンゴが主流で、国産の「並木の雨」、「小さな喫茶店」、「赤い靴のタンゴ」、「団子3兄弟」もこの系統と言える。

戦後1950~1960年代に、オルケスタ・ティピカ東京、オルケスタティピカ・ポルテナ、東京六重奏団(コンチネンタル)等のバンドが結成され、オスワルド・プグリエセ、フランシスコ・カナロなどの大御所も来日しブームとなった。

一方で、早川晋平、藤沢嵐子、利根研二がアルゼンチンに演奏旅行し、エバ・ペロンの追悼コンサートに出演しアルゼンチンで絶大な人気を得た。この様子は「藤沢嵐子アワー」としてラジオ東京から放送され、筆者も夢中になって聞いた覚えがある。

1971年にオルケスタ・ティピカ・東京が、解散したころから日

本のタンゴも衰退期に入る。

1980年代後半になると、米国で成功した「タンゴ・アルヘンティノ」が公演され、ブエノスアイレスで開催された第7回タンゴダンス世界選手権のサロン部門で山尾洋史・恭子夫妻が優勝し、ダンスとしてのアルゼンチンタンゴが注目されるようになった。タンゴは聴くだけでなく、見る、踊る楽しみも加わった。

筆者は、ファン・ダリエンソ、フランシスコ・カナロ等の古典派(ガルディア・ビエハ)を好み、アニバル・トロイロ、アストール・ピアソラのようなモダン派は苦手だった。ピアソラのリベルタンゴは、ヨーヨー・マのチェロ演奏が好きだった。浅田真央、鈴木明子その他多数のフィギュア選手がこの曲で演技している。

最近では、タンゴの生演奏を聴くのは、年一回の連合三田祭でOBによるBRBタンゴアンサンブルぐらいになってしまったが、JECK会員の北島さんの著作「ロストタブレット」を読んで、インターネットのYouTubeでタンゴを聞いたり、ダンスを見たりする楽しさを見つけた。



慶應BRBタンゴアンサンブル

ダンスとしてのアルゼンチンタンゴは、小泉さんの例のように習う人が増えたと聞いている。これが引き金となり日本でアルゼンチンタンゴ人気ができることを望んでいる。

*おおひらかずあき JECK事務局長 専門分野:包装技術 JICA任地:サウジアラビア JICA以外の任地:アメリカ、スイス

JICA帰国専門家連絡会かながわ会報 第31号

【発行】2018年10月1日 【発行者】JICA帰国専門家連絡会かながわ(JECK) 【編集委員会】福田 信一郎(編集責任) 大平 一昭 佐藤 満寿哉 小泉 由紀子
【事務局】横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜国際センター3F URL : <http://www.jeck.jp/> 事務局長 大平 一昭 e-mail:ohira_k@hotmail.co.jp
【印刷】横浜リテラ 横浜市戸塚区上矢部町1965-4 URL : <http://www.yokohamalitera.com/> e-mail : info@yokohamalitera.co.jp